



十六銀行

# 十六アジアレポート 2019年2月号

JUROKU ASIA REPORT FEBRUARY 2019

2019年2月1日 発行

十六銀行 法人営業部 海外サポート室

## 目次

1. シンガポール:「快適さを追求、次世代スーパー」 シンガポール駐在員事務所 富田邦裕
2. タイ:「運動不足と食生活。健康志向はタイを変えられるか？」 バンコク駐在員事務所 堀江幸康
3. ベトナム:「競争激化！従来型タクシーVS配車アプリタクシー」 ハノイ駐在員事務所 川瀬寛之
4. 上海:「個人所得税法、駆け足での改定」 上海駐在員事務所 浅野耕示
5. インドネシア:「2019年インドネシア展望」 バンクネガラインドネシア ジャパンデスク 中嶋幸人
6. 為替相場情報

本書中の情報は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては全てお客様御自身でご判断くださいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行及び執筆者はその正確性を保証するものではありません。また、本書中の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。

# 1. シンガポール:「快適さを追求、次世代スーパー」

シンガポール駐在員事務所 富田邦裕

シンガポールにある次世代スーパー。オン・オフライン融合の新型店舗として開業しています。食品全般を扱い、キャッシュレスで買い物ができるためレジに並ぶ必要がありません。また、購入商品の受取りはロボットを導入しており、画期的な印象を受けました。今回は、この次世代スーパーの利用方法などについてご紹介したいと思います。

まず、店舗入口（写真①／写真は全て筆者撮影）で専用アプリをスマートフォンにインストールし、表示されるQRコードをゲートでタップして入場します。広大な敷地、高い天井の店舗内に、世界中から輸入された食材が並んでいます（写真②）。全ての商品にはバーコードが付されており、購入時はスマホで読み取れば自動決済され、レジ待ちせずに清算が完了します。購入商品を全てカートに入れたらカートごと引き渡します（写真③）。すると自動的に袋詰め作業が行われます。



その後、購入商品は自動搬送ロボットから受け取る仕組みとなっています。もちろん配送サービスもあります。持ち帰りの際は、ピックアップコーナーに行けば、購入商品を詰めた袋が入ったボックスが移動し、目の前まで運んでくれます（写真④）。カート引渡しから受け取りまでにかかる時間は早くても5分程度を要します。帰りは出口のゲートで再びスマートフォンをタップして退場します。



これらのスーパーの商品は世界中から集められており約2万点の品揃えです。野菜・肉・魚も新鮮（写真⑤～⑦）で、日本産高級和牛のほか、岐阜県産品もあります。購入商品をその場で調理してくれるサービスや、店内飲食スペースで購入商品を食べることも可能であり、購買力を高めてくれます。

商品購入は専用アプリを使い自宅からも注文が可能です。スタッフが店内からピックアップして配送してくれます。しかし、アプリでは実際の商品の香りや新鮮度は分からず、実店舗と連動させることで質を確かめることができます。激安日系スーパーも店舗展開しているシンガポール。今後も新しい快適さを追求した、各小売企業の動向に注目していきたいと思います。

## 2. タイ:「運動不足と食生活。健康志向はタイを変えられるか？」

バンコク駐在員事務所 堀江幸康

2019年1月27日午前5時前、気温26度、微風。心配されたPM2.5濃度もさほどではなく、タイでの生活に慣れたせいもあって、肌寒くも感じる夜明け前。緊張した面持ちで、筆者はBrother Run & Share (5km コース) のスタート付近に立っています。

### ■Brother 5<sup>th</sup> Run & Share

バンコク市北西に位置するノンタブリー県。チャオプラヤー川にかかるマハー・チャサダボティンタラヌソーン大橋が舞台となる、Brother Run & Share。今年で5回目を迎えたこのマラソンイベントは、岐阜県人会で一緒させて頂いたBrother Commercial (Thailand)社の藤本様(高山市のご出身)からご案内を頂いたものです。

参加費の全てが、タイでがん治療研究の最先端を行っているラマティボディ病院に寄贈され、患者さんやがん治療研究のために使われます。当日は3,000人超の方が参加され、約156万バーツ(約530万円)が集まりました。

### ■タイはまだまだ「運動不足」の国？

近時、こうしたランニングイベントが多く開催されるようになったほか、自転車やウォーキングのイベントもメディアに取り上げられることが多くなってきています。昨年12月には、ワチラロンコン国王が主導する自転車イベントがバンコク市内をはじめタイ各地で開かれ、約60万人がサイクリングを楽しんでいます。

タイでもここ数年で健康志向が高まっています。フィットネスジムやヨガへ通う方、ランニング、ジョギング、ウォーキング、自転車を楽しむ方も増えつつあります。それに呼応して、スポーツ用品の量販店が増加しています。

しかしながら、タイはまだまだ運動不足の国なのかもしれません。

2017年、米スタンフォード大学の研究チームが、スマートフォンからデータを集め、国・地域別の1日の平均歩数を割り出しました。世界の平均は4,961歩、1日の平均歩数が最も多かったのは6,880歩の香港で、最下位(46位)はインドネシアの3,513歩でした。尚、タイは平均を下回る4,764歩で31位となっています(ちなみに日本は6,010歩で4位でした)。

### ■「食生活」も改善が必要？

同じく2017年のタイ糖尿病協会の調査によれば、タイでは毎年8,000人が糖尿病で死亡しており、現在もタイ国民のうち770万人に糖尿病を発症するリスクが見られると指摘されています。タイの疾病管理局でもキャンペーンなどを催し、糖尿病の増加に対する認識を高めようとしています。また、糖尿病はタイ人女性の死因の第2位でもあることも指摘されています。こうした状況を受け、運動不足の解消と合わせ、食生活の改善を呼びかけており、オーガニック食材や砂糖の少ない食材をチョイスする方が増えつつあるようです。

タイで健康志向が広がりを見せ、運動不足の解消や食生活の改善が進むことを願いつつ、フラフラになって完走(完歩)した自分への戒めとしたいと、深く反省しました。



【スタート地点。こうしたイベントは多い年で100回を超えることも。】



【開会式の様子。約156万バーツがラマティボディ病院に寄贈された。】

### 3. ベトナム:「競争激化！従来型タクシーVS 配車アプリタクシー」

ハノイ駐在員事務所 川瀬寛之

ベトナムでは近年、SNSによる配車アプリを通じて輸送サービスを提供する企業（配車アプリタクシー）の進出が増えています。東南アジアでシェア No.1 の Grab 以外にも、Go-Viet や FastGo、TaxiGo、Aber 等のスタートアップ企業が続々進出し、従来型のタクシー業界を巻き込んだ熾烈な競争が繰り広げられています。アプリを通じて手数料徴収するというビジネスモデルの配車アプリタクシーは、ITを活用した使いやすいインターフェースに加え、価格面やドライバーの身元保証・評価制度を通じた安全性などの面で従来型のタクシー企業を圧倒、2016年頃から市場シェアを大きく伸ばしてきました。

#### ■Grab における最近の動向



携帯電話にアプリをダウンロードすれば誰でも簡単に利用することができます。アプリで目的地を設定し近くにいるバイクや四輪車を検索します。料金は事前に表示され、現金支払いかデビット支払（銀行口座引落し）を選択します。利用頻度等に応じた割引システムもあります。

Grab が低価格でサービスを提供できる理由としては、課税負担が少なく車の台数制限も適用されない「IT 企業」として登録していること、バイク型ではアルバイトとして学生等（18 歳以上）を雇うことで人件費を抑えつつ車両を増加させていることなどが挙げられます。Grab 公表のデータによれば、登録ドライバー数は、昨年 9 月時点で約 17.5 万人に達しています（うち半数近くが学生）。

《Grab ドライバーの平均月収（Grab 公表データ・1/21 為替レート 1VND=0.00472JPY により円換算）》

	Grab 四輪車	Grab バイク
フルタイム(週 6 日・1 日 8 時間)	122,722~155,760 円	37,760~47,200 円
パートタイム(1 日 4~5 時間)	70,800 円	18,880 円

また、サービス人気の要因として、従来型タクシーの悪質ドライバーによるトラブル多発が挙げられます。Grab は送迎を手配した時点でルートと料金が決定されるため、遠回りや高い金額を請求される心配がなく、ドライバー評価機能によるサービス向上も期待されています。言葉の壁に悩む外国人にとっても利用しやすいシステムとなっています。ベトナム商工省のデータによれば、2018 年に配車アプリタクシーを利用したベトナム人は全体の 81% に上り、うち 60% の利用者が「安くて便利」と評価しています。



【Grab バイクタクシー】

#### ■従来型のタクシーによる攻勢

この流れに従来型のタクシー企業も黙っておらず、複数のタクシー企業が合併によるサービス機能強化に取り組み対抗しています。地元紙によれば、ハノイタクシー協会の会長が市内の全タクシー企業による共用アプリケーションの構築案を出しており、国内大手通信会社 FPT 幹部もソフトウェア開発部分での協力を示唆しています。また、ホーチミン大手の Vinasun は Grab に対して「実質的なビジネス形態に沿って輸送企業として登録するべき」として、不正競争による損失約 2 億円の賠償を訴えています。

いずれにせよ、従来型タクシー企業と配車アプリタクシー企業との競争は今後も激しさを増していくものと思われます。現代社会において、いかにシステムを充実させられるかが重要な要素となり、その動向に注目が集まっています。

## 4. 上海:「個人所得税法、駆け足での改定」

上海駐在員事務所 浅野耕示

2018年8月31日の第十三期全人代において、個人所得税法の改定が決定し、2019年1月1日より施行されることが決定しました。個人所得税においては、前回の改定は2011年であり、8年ぶりの変更となります。変更概要から察するに、駐在員・中国人従業員ともに影響が生じることが見込まれているものの、具体的な運用等は現状では不明瞭な点が多くあります。今回は改定の概要や、現況について報告したいと思います。

### ■改定の概要

今回の改訂の中で、主要なものの一部として、下記2点をピックアップしてみます。

- ①税率表の変更：居住者（中国国内に住所を有する、または住所を有しないが一納税年度内に中国国内に累計183日以上居住する個人）に対しては年単位の税率表が設定されました。毎月の所得を加算の上、その累計所得額を年単位の税率表と照らし合わせて、税率及び控除額が毎月決定する仕組みとなっています。通年で所得の加算が進むにつれて、適用される税率が高くなるため、額面金額に変更が無ければ年末に向けて手取り額は減少することとなりますが、通年では、広い所得層にとって減税効果が期待できます。
- ②控除項目の追加：追加控除項目として、子女教育費<sup>\*</sup>・継続教育費・高額医療費・住宅ローン利息<sup>\*</sup>又は住宅賃料・高齢者扶養支出<sup>\*</sup>等が追加されました。例えば、自身が一人っ子・子供一人・1軒目の住宅ローンがある場合、基礎控除の毎月5,000元に加えて、4,000元の控除（<sup>\*</sup>について控除を適用）を受けることが可能となり、①と同じく減税効果が期待できます。

### ■概要は決定したが、詳細は未だ・・・

今回の改定により、個人の所得税負担の軽減効果が見込まれますが、前述の子女教育費控除を例にすると、控除が可能となる学校の種類や習い事の具体的な範囲、また疎明資料として認められるための領収書の要件等についても未だ公表されていません。そして、税務局の窓口にお問い合わせをしても、日によって回答が変わることもあります。また、ここ数年の間に普及したWEB上の納税システムにおいても、これまで発生していなかったエラーが頻発しています。税務局の窓口担当者にも、詳細な情報が通達されていないものと思われそうですが、現地では施行開始となった今もなお、日々変更となる様々な情報の中で手続きが進められています。

### ■所感

本件の様に「まず実行」「後程、手直し」という進め方は中国ならではの進め方ではないでしょうか。思い起こすと2017年に「外国人がA・B・Cにランク付けされる」という就業管理制度へ移行した際にも、移行直後は様々な情報が飛び交いましたが、しばらくすると正確な情報が通達され、混乱が収束するということがありました。

こうした状況にありますので、当事務所としては、ある程度情報が整ったタイミングで、お客さまの中国現地法人向けの勉強会を開催する等、お役に立つ企画を考えたいと思っています。

## 5. インドネシア:「2019年インドネシア展望」

バンクネガラインドネシア ジャパンデスク 中嶋幸人

2019年のインドネシアは2つのビッグイベントが控えています。これから数年先のインドネシアが大きく変わるかもしれない注目すべきイベントであり、本レポートにてご紹介します。

### ■MRTの開業

3月には、2005年から国家的プロジェクトとして進められてきたMRT（ジャカルタ都市高速鉄道）の開業が予定されています。今回開通する区間は、住宅地が多いレバプルス駅から北上し、繁華街のブロックM、ジャカルタ中心地のスナヤンを経由し、ブンデランHI駅までの約15kmです。今回開通するMRTは、スディルマン通り等のジャカルタ市内でも有数の渋滞が発生する通りの地下を通過しており（一部は高架式）、MRTの開通により渋滞の緩和が期待されています。MRTの運賃は片道が約Rp. 15,000（約120円）となる予定であり、普段は自動車やバイク、バスを利用している人などあらゆる層がMRTの利用へシフトしうる可能性を秘めています。そのため、開業前から駅近くでは特設ブースを設置して、利用促進のアピールをしています。また、MRTの整備を見越して、駅直結型のショッピングモールやアパート、オフィスといった物件への不動産投資などは既に活発に行われているようです。

駅までの交通手段や、駐車場の確保などまだまだ課題は多いようですが、インドネシア初の地下鉄開業とあって、期待は大きいようです。



【整備された駅前広場】



【開業前の駅に設置されている  
MRTインフォメーションセンター】

### ■大統領選挙

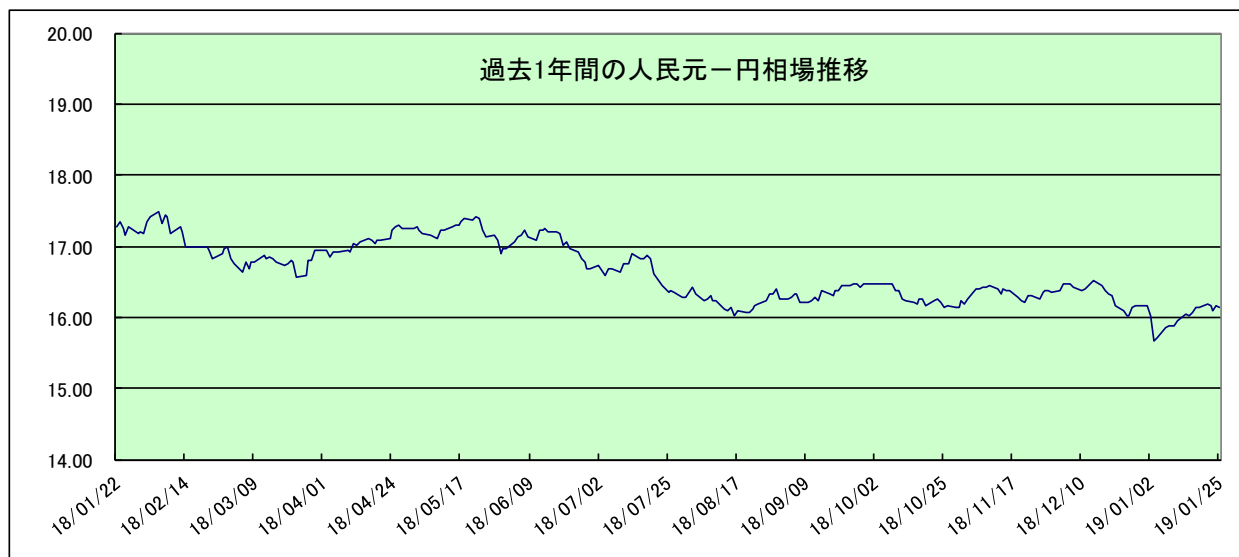
4月17日、インドネシアでは大統領選挙が実施されます。インドネシアは、5年に1度、有権者（満17歳以上）の直接投票で正副大統領を選出します。有権者は約2億人に上ります。立候補するのは現職の闘争民主党ジョコ・ウィドド氏とグリンドラ党プラボウォ・スビアント氏です。現職のジョコ氏は、これまで5年間で行ってきたインフラ投資や「均衡のとれた国土発展」という目標に基づいた経済政策の成果をアピールしています。一方のプラボウォ氏は「経済」「国民福祉」「文化・環境」「政治・法務・治安防衛」の4つの視点からの改革を標榜しています。しかし、メディアを使った選挙活動は3月下旬まで解禁されていないこともあり、有権者の4割超が公約の中身をよく知らないという調査もあるようで、具体的政策での選挙戦にはまだ至っていない印象です。現在の各候補の支持状況は、約6割がジョコ氏、約3割がプラボウォ氏、約1割が態度未定との調査もあり、現職ジョコ氏の優勢とみる調査機関が多いようです。しかしながら、前回の選挙結果も事前の予想が大きく外れたこともあり、情勢は予断を許さないものとなっているようです。いずれにせよ、私たちが深く関わる経済政策に関する公約は両者ともに大きな違いはなく、現在の経済政策とも近いため、どちらの候補が当選しても、大きな影響はないことが予想されています。

## 6. 為替相場情報

(1) 人民元一円為替相場(中国人民銀行公表仲値)

(単位:1人民元当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
12月24日	16.08596	12月25日	16.01127	12月26日	16.01666	12月27日	16.13632	12月28日	16.15848
12月31日	-	1月1日	-	1月2日	16.00794	1月3日	15.67570	1月4日	15.72006
1月7日	15.84359	1月8日	15.88285	1月9日	15.87780	1月10日	15.87150	1月11日	15.95456
1月14日	16.05420	1月15日	16.01999	1月16日	16.06555	1月17日	16.13554	1月18日	16.13137
1月21日	16.18202	1月22日	16.16057	1月23日	16.09010	1月24日	16.15587	1月25日	16.12643



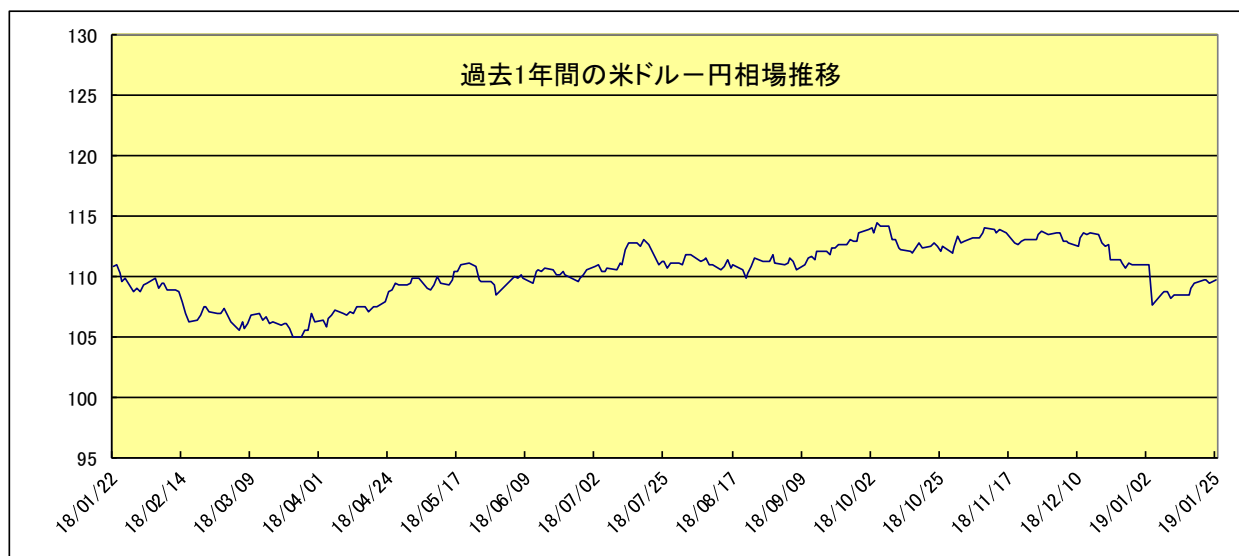
上記表、及びグラフはこの公表仲値を便宜的に1人民元当たりの日本円へ換算し直した相場です。

そのため、正式な人民元相場が必要な場合は、中国人民銀行にお問い合わせ下さい。

(2) ドルー円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

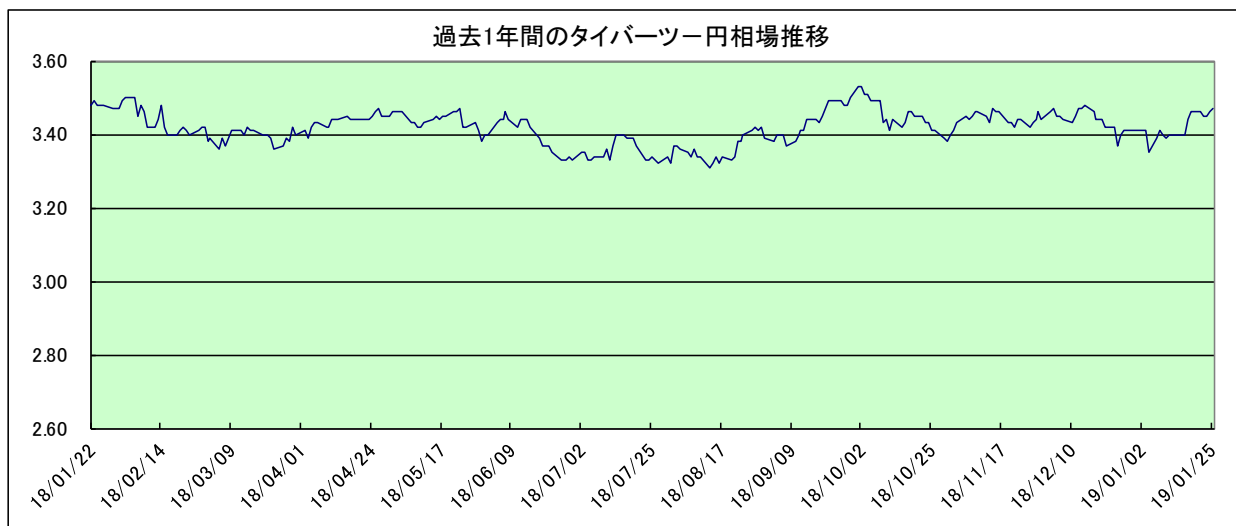
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
12月24日	-	12月25日	111.07	12月26日	110.68	12月27日	111.13	12月28日	111.00
12月31日	-	1月1日	-	1月2日	-	1月3日	-	1月4日	107.66
1月7日	108.52	1月8日	108.79	1月9日	108.71	1月10日	108.19	1月11日	108.47
1月14日	-	1月15日	108.40	1月16日	108.44	1月17日	108.97	1月18日	109.39
1月21日	109.67	1月22日	109.69	1月23日	109.49	1月24日	109.54	1月25日	109.77



(3) タイバーツ-円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1バーツ当たりの日本円)

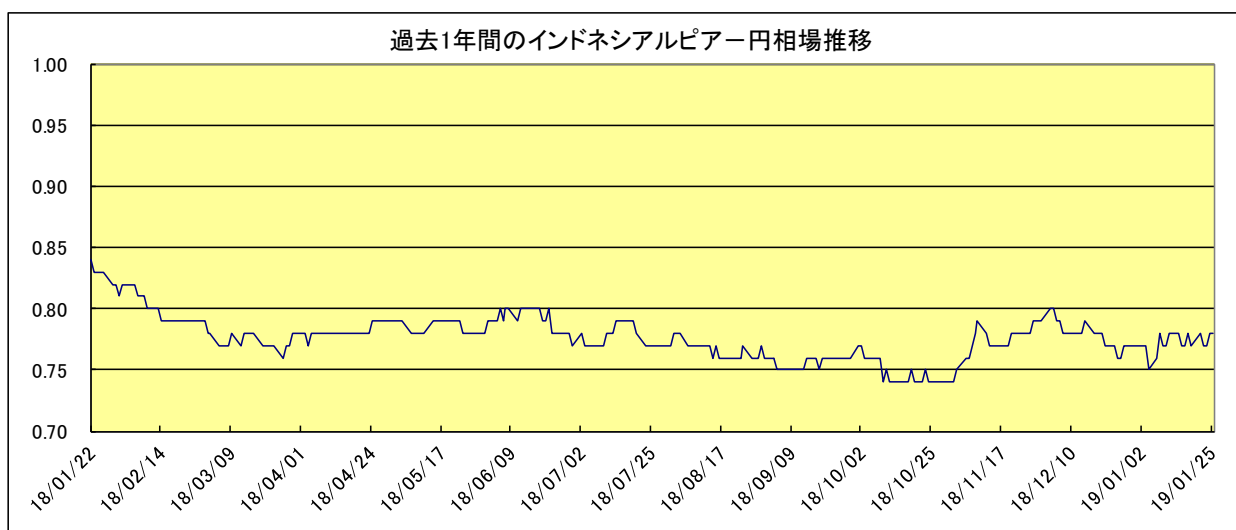
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
12月24日	-	12月25日	3.3700	12月26日	3.4000	12月27日	3.4100	12月28日	3.4100
12月31日	-	1月1日	-	1月2日	-	1月3日	-	1月4日	3.3500
1月7日	3.3900	1月8日	3.4100	1月9日	3.4000	1月10日	3.3900	1月11日	3.4000
1月14日	-	1月15日	3.4000	1月16日	3.4000	1月17日	3.4400	1月18日	3.4600
1月21日	3.4600	1月22日	3.4500	1月23日	3.4500	1月24日	3.4600	1月25日	3.4700



(4) インドネシアルピア-円為替相場(参考値)

(単位: 100ルピア当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
12月24日	-	12月25日	0.7600	12月26日	0.7600	12月27日	0.7700	12月28日	0.7700
12月31日	-	1月1日	-	1月2日	-	1月3日	-	1月4日	0.7500
1月7日	0.7600	1月8日	0.7800	1月9日	0.7700	1月10日	0.7700	1月11日	0.7800
1月14日	-	1月15日	0.7700	1月16日	0.7700	1月17日	0.7800	1月18日	0.7700
1月21日	0.7800	1月22日	0.7700	1月23日	0.7700	1月24日	0.7800	1月25日	0.7800

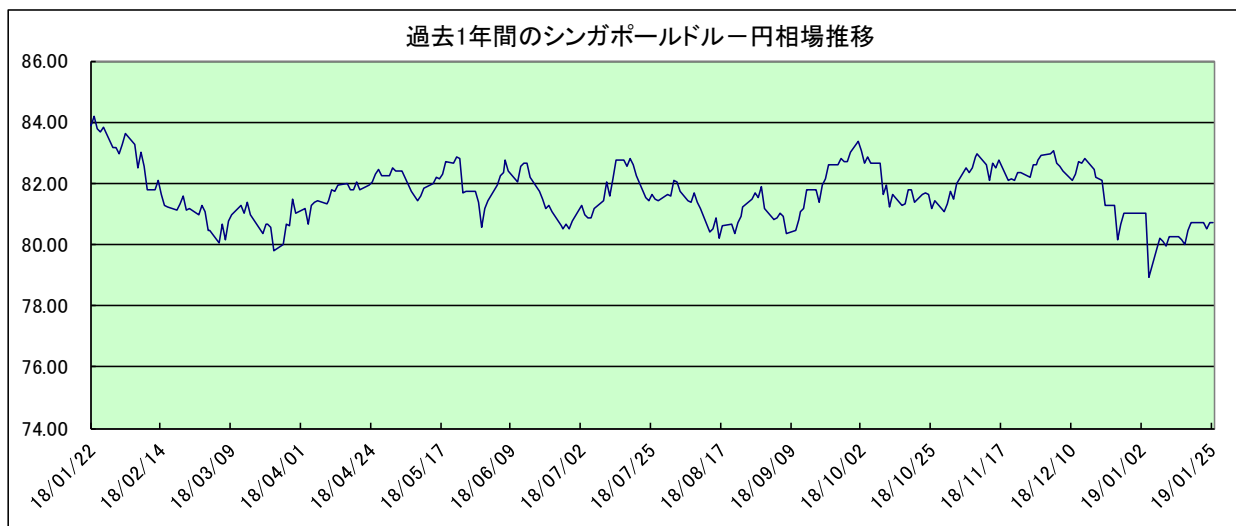




(5) シンガポールドル－円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
12月24日	-	12月25日	80.1300	12月26日	80.6600	12月27日	81.0300	12月28日	81.0000
12月31日	-	1月1日	-	1月2日	-	1月3日	-	1月4日	78.9200
1月7日	79.8500	1月8日	80.2200	1月9日	80.0900	1月10日	79.9600	1月11日	80.2700
1月14日	-	1月15日	80.1500	1月16日	80.0100	1月17日	80.4600	1月18日	80.7200
1月21日	80.7300	1月22日	80.7300	1月23日	80.5300	1月24日	80.7000	1月25日	80.7200



(6) ベトナムドン－円為替相場(参考値)

(単位:1000ドン当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
12月24日	-	12月25日	4.7200	12月26日	4.7500	12月27日	4.7500	12月28日	4.7600
12月31日	-	1月1日	-	1月2日	-	1月3日	-	1月4日	4.6400
1月7日	4.6700	1月8日	4.6800	1月9日	4.6900	1月10日	4.6600	1月11日	4.6700
1月14日	-	1月15日	4.6700	1月16日	4.6700	1月17日	4.6900	1月18日	4.7100
1月21日	4.7200	1月22日	4.7200	1月23日	4.7100	1月24日	4.7200	1月25日	4.7300

